

選 挙 公 示
2019年5月7日

日本気象学会九州支部選挙管理委員会
選挙管理委員 蛇嶋 成一・花宮 義和

第40期日本気象学会九州支部理事の補充選挙について

標記について、下記のとおり選挙を実施します。

今回は候補者数が補充する理事の数を超えていないため、信任投票となります。

記

1. 候補者氏名 (届出順)

倉内 利浩	福岡管区気象台・台長
尾崎 友亮	福岡管区気象台・気象防災部長
多田 英夫	鹿児島地方気象台・台長

2. 補充する理事の数 3名

3. 投票の方法 無記名の信任投票となります。
郵送された立候補者の所信を参考に、投票用紙に信任の場合○を、
不信任の場合×を記入し、郵送ください。
○×以外が記入されている場合（無記入を含む）は、その候補者
に対する投票は無効とします。

4. 投票締切日 2019年5月29日（水）（必着）
※5月7日に投票用紙および立候補者の所信等を発送しました。万
一数日たっても投票用紙等が届かない場合は、九州支部選挙管理委
員会までご連絡ください。

5. 投票用紙送付先 〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36
福岡管区気象台 気象防災部防災調査課内
日本気象学会九州支部 選挙管理委員会
電話：092-725-3614 e-mail: info@msj-kyushu.jp

第 40 期日本気象学会九州支部理事補充選挙候補者

氏名：ふりがな 倉内 利浩くらうち としひろ

職業：福岡管区気象台・台長

所信：「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」「平成 30 年 7 月豪雨」と相次いで甚大な豪雨災害が発生しましたが、この 2 つの現象の特徴は大きく異なるもので、そのメカニズムや要因は随分詳しく解明されました。気象業務は気象学の発展とともにあり、気象学の発展を業務に結びつけることが、社会に直接貢献できるものだと改めて強く感じています。

今回の引越しで古い資料を整理していたところ、1986 年 9 月に刊行された「九州支部だより第 60 号特集号」に宮崎地方気象台から投稿させていただいており、当時の自分が書いた文章を久し振りに読み、初心を忘れず、学会と業務の橋渡しをさせていただけたらと考えております。

氏名：ふりがな 尾崎 友亮おざき ともあき

職業：福岡管区気象台・気象防災部長

所信：平成 30 年 7 月豪雨をはじめ、近年、大きな被害をもたらす気象災害が頻発しています。こうした気象災害の防止・軽減において、防災気象情報の内容や伝え方の改善を図ることは大切ですが、防災気象情報の基幹を支えるのは科学に基づいた様々な研究の成果であり、気象分野における研究の発展と研究成果の適切な社会実装が極めて重要です。防災に資する気象情報の高度化が求められる中、気象学の発展を支える日本気象学会の役割や、気象分野における研究と防災との連携の重要性はますます増してきていると感じています。学術研究と防災行政のつなぎ役として微力ながら努めて参りたいと考えております。

氏名：ふりがな 多田 英夫ただ ひでお

職業：鹿児島地方気象台・台長

所信：今般、台風や局地的大雨などの顕著な気象現象による災害の頻発を受け、気象情報を国民一人ひとりの命を守る行動に結び付けていくことが、以前にも増して求められています。そのためには、気象現象のメカニズムや、大雨などの気象現象とさまざまな災害との関係にかかる情報を、科学的な知見に基づいて適時に伝え、一人ひとりの行動を促していくことが大事です。私は気象台に勤務する者として、我々の発表する情報が防災機関の対応や国民の安心・安全に資する大切さを日々感じており、必要な知識の普及・啓発に少しでもつながるよう、日本気象学会の活動を通じて取り組んでいきたいと考えています。